

岩手県金融経済概況（平成 26 年 2 月）

1. 概 況

県内経済は、回復しており、このところ消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。

最終需要動向をみると、個人消費は、底堅く推移している。住宅投資は、高い伸びを続けている。これらの分野では、消費税率引き上げ前の駆け込み需要もみられている。公共投資は、高水準の前年を更に上回る伸びを示している。民間設備投資は、増加している。

生産は、持直しており、雇用、所得環境は、改善している。

2. 最終需要

(1) 個人消費

百貨店売上高（2月）は、週末降雪の影響等もあって前年割れとなった（震災前の平成 22 年 2 月対比でもマイナスを記録した）。

スーパー売上高（1月；全店舗ベース）は、前年を僅かながら下回った。

新車登録台数（2月）は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要や新車投入効果もあって、引き続き前年比増加幅を拡大している。

(2) 建設投資（公共投資、設備投資、住宅投資）

公共投資（公共工事請負額；2月）は、高水準の前年を上回る増加を続けている。

—— 大型工事については、震災復旧関連工事（道路建設工事等）、災害公営住宅新築工事等がみられる。

民間設備投資（2013 年度計画；短観ベース）は、震災復旧投資の一服等から前年を下回る計画ながら、個別には、製造業で需要回復を眺めて能力増強投資を積み増す動きがみられているほか、非製造業でも震災復旧復興需要の増加等を反映して、年度計画の増額修正を行う先が目立っている。

住宅投資（新設住宅着工戸数；1月）は、高い伸びを続けている。

—— 持家（注文住宅）では、消費税率引き上げ前の駆け込み需要がみられるほか、貸家も災害公営住宅着工もあって高い伸びを続けている。

県内官民建設工事全体の出来高（建設総合統計；1月）は、高水準の前年を大幅に上回って推移している。

3. 生産動向

生産は、持ち直している。

—— 主要業種別にみると、震災復旧復興関連需要を背景に窯業・土石が高操業を続けているほか、内外需要の増加を反映して生産用機械、業務用機械等多くの業種で持ち直している。また、足許では、輸送機械等で消費税率引き上げ前の駆け込み需要への対応もあって生産水準を引き上げる動きがみられる。

4. 雇用、所得動向

雇用情勢は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値；1月）は、1.09倍となった（2013年5月以降9ヵ月連続して1.00倍以上となった）。

—— 職業別には、専門的・技術的職業、販売の職業、サービスの職業、輸送・機械運転の職業、建設・採掘の職業などの有効求人倍率が高くなっている。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；1月）も高い水準で推移している。

名目賃金指数（12月）は、僅かながら前年比プラスとなった。

こうした状況下、雇用者所得（県内合計値；12月）は、前年を上回って推移している。

5. 企業倒産

企業倒産（2月）は、3件、4.4億円と件数、金額共に前年を下回った。

6. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金、貸出は、前年を上回って推移している。貸出約定平均金利は、低下地合いを辿っている。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <http://www3.boj.or.jp/morioka/>